

持経宿完工(業者作業終了)後の残務作業

◇実施日：平成27年07月12日(日) 曇時々晴

◇参加者：玉岡憲明、玉岡 明、沖崎吉信、山上皓一郎、

山上昌子、根木俊明、濱野兼吉、川島 功、畑林秀味、

畑林清子、大江加予子、生熊敏男、生熊千満子、

田中稔昭、梶野照雄、青木宏充。

計16名

◇ 作業内容

- 一、小屋内壁・野地板塗装(全体の約30%)：梶野・青木・畑林秀。
- 二、雨水槽の設置(2槽の内1槽設置)：根木・川島・玉岡明。
- 三、薪小屋の基礎工事(東石のみ設置)：根木・田中・川島・玉岡明。
- 四、トユカバーの取付(完成)：生熊。
- 五、お堂(不動堂)屋根改修の為の検分と採寸：田中・畑林秀。
- 六、台所の食器洗浄と整理：右記以外の方々。
- 七、お堂と小屋内の整理・処分と清掃：右記以外の方々。
- 八、毛布洗濯のため持出(55枚中28枚)：各自3〜4枚。
- 九、残った木材(胴縁・板類など)の宿内保管。
- 十、小屋内への各種掲示(マナールール・支納金など)：沖崎。
- 十一、ゴミ・不用品処分の持帰り。

5月22日十津川村寄贈の木材引取りから始まった工事も、梅雨の真っ只中20日間で、木下棟梁以下延60人の職人さんが入宿され、7月9日に業者さんによる作業は完工した。

完成した小屋を早く見たいとの声が多く、お披露目もあって皆さんに声をかけた結果、16人の多くの参加となった。

当日、新宮7時発。途中、下北山村役場で大阪から参加の田中さんと合流。又、本日役場の職員採用試験の為登庁の故和田さん

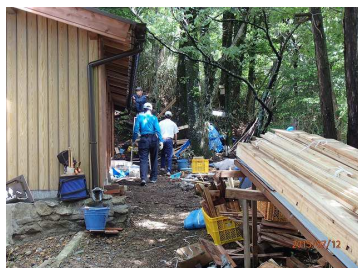
の息子さんに挨拶する。尚、田中さんは、前日用事があつて自宅を出たのが夜中12時過ぎで、池原スポーツ公園での仮眠も2時間位だったとのこと、ほぼ睡眠もとらずの参加であり、ありがたいことである。

予定通り9時半過ぎ持経宿着。梶野、青木両氏も直ぐに合流となった。

皆さん工事の途中参加がなく初めて見る人、途中1〜2回参加された方、大半が完工した持経宿を見る事となつて「すごい！」「りっば！」「どえらいの！」「これは新築だ！」などの感嘆の声しきり。

早速、皆さんに宿内が上がってもらい、本日の作業内容やそれぞれの担当についてミーティングを行う。

昼食をはさみ15時頃まで皆さん大奮闘、整理・清掃・片付けなどは参加者16名と頭数多いので目に見えてきれいになる。



残材整理中



昼食休憩



トユカバー取付・板切断



薪小屋東石据付作業



食器等の洗浄・整理



本日の作業者

今後も我々は、順次上記作業の継続となるが、メインと言うか日数がかかりそうなのが、お堂屋根葺き替えと薪小屋の新設だろう。

今回の持経宿改築については、計画準備段階からその一部を担当させていただいた。ハプニングや大変なこともあったが、資金集めや行仙宿・平治宿の新築、深仙お堂の改修等と比較したら、玉岡さんや諸先輩のご苦勞の20分の1か50分の1位だろう、その思いが常に頭にあった。

行仙宿・平治宿に続き念願の持経宿改築も我々新宮山彦ぐるーぷの手で整備した。

今後、50年、100年と利用して頂くため、どうあるべきか、どうすべきか課題は多い。

行動タイム

新宮 7:00 ↓ 下北山村役場駐車場 → 9:30 持経宿 → 11:35 昼食 12:35
↓ 持経宿 15:15 → 17:50 新宮。

(記 沖崎)